

研究課題名：肺がん及び転移性肺腫瘍（大腸癌）における腫瘍免疫抑制  
システムの解明

患者さま医療情報の研究利用について

私たちは、“肺がんや肺に転移してきた腫瘍”の治療について研究をしています。昨今、免疫療法は、手術、化学療法、放射線療法に次ぐ第4の治療法として脚光を浴びるようになりました。しかし、実際には、その代表的な薬剤ですら効果が認められるのは10-30%です。そのため、今後の免疫療法の発展には、がん細胞がどのようにして免疫から逃れようとしているのかについての理解をさらに深めることがとても大切です。最近のがん研究において、がん病巣やその周囲（がん微小環境）では、多彩な細胞が免疫抑制に関与していることが明らかになってきました。今回、私たちは、病理学的方法でがん微小環境に存在する多彩な細胞の分布や機能を調べ、がん病巣を取り囲む環境を総合的に解析し、患者さま一人一人の状況にあった免疫治療選択を提案したいと考えています。

研究の対象となるのは、2004年1月1日から2023年12月31日の間に、北里大学病院または北里大学東病院で肺がん及び大腸がんからの肺転移に対して診断や治療を受けた患者さま、また、受ける予定の患者さまです。患者さまが病気の診断や治療の過程で、生検や手術を行った場合、その検体の一部を本研究に使用させていただきます。また、年齢、性別、IDなどの基本情報や診断、治療とその結果に関する診療情報、および病理情報を使用させていただきます。これらの医療情報は、匿名化され、氏名や住所、その他の個人情報は一切公表されることはございません。さらに、この研究の結果が、学会発表や論文発表の形で公表される場合にも、個人情報が公になることはありません。また、これら医療情報は紛失、盗難が起らないように厳重に保管され、研究終了後は破棄されます。しかし、試料及び診療情報の二次利用の可能性が生じた場合には、改めて倫理委員会で審査を受け、情報開示を致します。

本研究の対象に該当される患者さまで、検体（生検、手術）や診療情報を提供することに同意されない方は2024年12月31日までにお申し出ください。お断りになっても今後の治療などの一切において、患者さん、ご家族の不利益になることはありません。また、一度同意いただいても途中で取りやめることができます。また本研究に関して、ご質問などがございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先

TEL：042-778-8111

北里大学医学部 呼吸器外科 塩見 和

メールアドレス：shiom@kitasato-u.ac.jp